

青木ひろこと櫛谷結実枝の 北欧紀行Vol.2

作品：レーナ・ラウライネン『魔術師のたいこ』より「ウルダとアイリガス」「山の風」
辻邦生『花のレクイエム』より「百合(7月)」

朗読：青木ひろこ フィドル：櫛谷結実枝

日時：2019年7月7日(日)

14:00 オープン 14:30 スタート

料金：¥2,500 ※オーダーをお願い致します

場所：コム・ラ・ボア・ラクテ
栃木県宇都宮市上大曾341-1

お問い合わせ先：
028-625-3408(コム・ラ・ボア・ラクテ)
090-4074-2316(ルレシ朗読サロン)
yumoz1114@msn.com(櫛谷)

後援：フィンランド大使館/NPO日本朗読文化協会

青木ひろこと櫛谷結実枝の 北欧紀行Vol.3

作品：レーナ・ラウライネン『魔術師のたいこ』より「ウルダとアイリガス」「山の風」
夏目漱石『夢十夜』より「第一夜」

朗読：青木ひろこ フィドル：櫛谷結実枝

日時：2019年7月21日(日)

14:00 オープン 14:30 スタート

料金：¥2,500 ※オーダーをお願い致します

場所：キエロティエ
東京都杉並区荻窪5-16-20 SNビル2F

お問い合わせ先：
03-5335-7793(キエロティエ)
090-4074-2316(ルレシ朗読サロン)
yumoz1114@msn.com(櫛谷)

後援：フィンランド大使館/NPO日本朗読文化協会



朗読で
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA



出演者プロフィール



青木ひろこ [朗読]

小劇場での演劇を経て、「下北沢言語表現研究西澤ゼミ語り部の会」に参加。故・西澤實氏、本多晋氏に師事。朗読家として多くの舞台を経験。様々な演奏家やダンサー、美術作品やアーティスト、能楽など古典芸能とのコラボレーションを行っている。山本周五郎朗読会、リーディングカフェ、ショートファンタジーの世界、月結公演などのシリーズを続ける。各種朗読教室で後進の指導を務める。ルレシ朗読サロン主催。NPO 日本朗読文化協会会員。

HP: <http://www.25garden.com>

櫛谷 結実枝 [フィドル]

滋賀県出身。栃木県宇都宮市在住。幼少の頃よりクラシックバイオリンに親しみ、神山交響楽団などで演奏。過去にエレキバイオリンを使用して、ロックバンドやインストユニットなどで活動する。様々な音楽に影響を受け、現在は北欧の伝統音楽、バロック音楽、教会音楽などを好み、アコースティックユニット Felonなどで活動している。

HP: <https://ameblo.jp/yumie-kushitani/>

今年はフィンランドと日本が外交関係を結んでから100周年の記念の年。それに因んで、フィンランドの作家レーナ・ラウラヤイネンの『魔術師のたいこ』から二つの物語をお送り致します。百年に一度だけ、魔法のたいこが、ふしぎな物語を語りだす…。フィンランド民話を題材にした静謐なファンタジーです。また、100年という年をキーワードに、夏目漱石の『夢十夜』から「第一夜」を。辻邦生の『花のレクイエム』からはこの朗読イベントの開催月である「7月(百合)」をお送り致します。

作者紹介

◆Leena Salme Tuulikki Laulajainen(レーナ・ラウラヤイネン)
1939～2017年 フィンランドの作家。

ヘルシンキ大学でフィンランド文学や哲学を専攻し、卒業後は母国語講師などを経てフリーライターとなる。先住民族や芸術に興味を持ち、おとぎ話や詩、文化史や教育資料に関するエッセイなどを執筆。母国で様々な賞を授与される。

◆辻邦生

1925-1999年 日本の小説家。
東京生れ。大学講師を経てフランスに留学。帰国後、長篇『廻廊にて』を執筆し、近代文学賞を受賞。『安土往還記』や『背教者コリアヌス』等、独自の歴史小説を次々と発表。小説、戯曲、評論と幅広く活躍し『西行花伝』『嵯峨野明月記』『春の戴冠』等の作品がある。

◆夏目漱石

1867年～1916年 日本の小説家。英文学者。
江戸の生まれ。英国に留学し帰国後、「我輩は猫である」を始め「坊っちゃん」「草枕」等、次々と話題作を発表。その後、教職を辞し新聞社に入社して創作に専念。「三四郎」「それから」「行人」「こころ」「明暗」等、数々の傑作を著した。日本近代文学の代表的作家。